

特集

交通安全協会 × 市議会

今回は、地域の交通安全にご尽力されている交通安全協会役員の方皆さんです。市内には福生交通安全協会（秋川支部）と五日市交通安全協会（増戸、五日市、戸倉、小宮の4支部）があり、それぞれの活動内容や現状などをお聞きしました。



皆さんに声をかけることで、
少しでも事故を減らしていければと思います。

〈どんな活動をしていますか？〉

- 街頭での交通指導や広報活動、イベントや祭礼時には、駐車場の誘導を行っています
- 女性部では、老人ホームへ出向き、指人形を使った交通安全の啓発をしています
- 秋の交通安全の集いでは、寸劇で交通のルールやマナーを教えて、結構評判です
- 春と秋の交通安全運動では、講習会やフェスティバルをやっています
- 管内で交通事故があったときには、制服を着て交差点に立ち、注意

〈やってよかったことは？〉

- 促しています
- 私たちが皆さんに声をかけることによって、少しでも事故を減らしていければと思います
- 地域の人から喜ばれたり、頼られたりすることです
- 交通安全の広報活動で広報車に乗っているときに、下校中の小学生が手を振ってくれるのは、嬉しいですね
- 朝、交差点で旗振りをしているときに、高校生に毎日接

〈悩みや課題はありますか？〉

- 役員が年齢も上がっている中で、新しいやり手がなかなかいないことです
- 仕事や子育てに忙しい若い人は、周囲の理解や環境が整っていないと、朝夕の交通指導をやるのは大変ですね
- 最近は賛助会費や会員費を集め

〈市民の皆さんに伝えたいことは？〉

- 管内で起きた身近な事例や事故の体験談を聞ける交通安全講習会に、ぜひ多くの人に参加してもらいたいです
- 広い通りは交通量も多いし、車のスピードも出ているので、昔渡れたから大丈夫といって、横断歩道以外のところを渡るのはやめてもらいたいですね
- 高齢ドライバーの事故が目立ちます。別のことを考えながら運転してしまうのは、とても危険です。特に産業祭や病院の駐車場などでは注意が必要です

〈市や議会に届けたいことは？〉

- 地域の交通事故を減らすためにも、市内の中小企業や介護事業者に対し、従業員に交通安全講習会への参加を促すよう働きかけてほしいです
- 東秋留駅は線路を渡ってホームに行かなくてはならず、事故の危険性もあるので改善してほしいです



● 3月定例会議
第1回臨時会議 ● 議案審議

あきる野市の
こんなことが決まりました。

3月定例会議 会議期間32日間 2月21日～3月24日
第1回臨時会議 3月31日

3月定例会議の議案は

市長提出議案…28件

陳情…2件

議員提出議案…3件

第1回臨時会議の議案は

市長提出議案…2件

計35件

今野ではこの中から7つを Pick up

全ての議案名と結果は、あきる野市ホームページをご覧いただくか、議会事務局へお問い合わせください。

〈議案第5号〉 あきる野市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例

Pick up 1
個人市民税、法人住民税及び
軽自動車税の一部が変わります。

個人市民税における住宅ローン控除の適用期限の延長、法人市民税の法人税割の税率引き下げ、軽自動車税環境性能割の創設など、規定を整備します。

こんな質問が出ました。

Q 法人住民税が12・1%から8・4%に引き下げられ、その分を原資とした法人事業税交付金が新設されるということですが、税収だったものが交付金に替わり市の収入はどのようにになりますか。

A 引下げになった法人市民税に関しては、減収になります。その減収分を補てんするための措置として、法人事業税の交付金が創設されます。現在のところ、影響がどれくらいあるかについてはわかっていません。



〈議案第11号〉 あきる野市観光施設に係る指定管理者の指定について

Pick up 2
「秋川橋河川公園」などを
管理運営する民間業者を
決定しました。

あきる野市観光施設「秋川橋河川公園」「リバーサイドパーク」の谷「秋川ふれあいランド」の管理は、一般社団法人となったあきる野市観光協会が引き続き行うことになりました。指定期間は平成29年4月1日から32年3月31日までです。

こんな質問が出ました。

Q 秋川橋河川公園へは環境協力費を払って入場するわけですが、震災など有事の際には、必要があれば立ち入りは許されますか。

A 災害の種類にもよりますが、そこに避難する必要がある場合には、観光協会と市で連携しながら開放する形で進めていきたいと考えています。



〈議案第14号〉 平成28年度あきる野市一般会計補正予算（第6号）

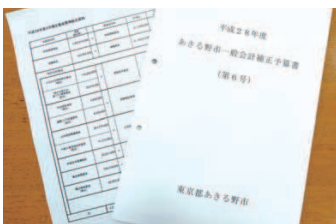
Pick up 3
基金の整理統合に伴う各基金
への積み替えを行います。

これまでは、寄附者の希望に合った基金がない場合もあったため、寄附者の意思を確実に反映し、有効活用できるような基金の種類を整理統合します。

こんな質問が出ました。

Q 新基金では、ふるさとの緑地保全基金と郷土の恵みの森づくり事業基金は、まとめて環境保全基金になるというように、いくつかにまとめられていますか、決算書では内訳が示されますか。

A 小分類の内訳までは難しいかもしれませんが、中分類の金額は決算書に表示したいと考えています。



Pick up 4 介護保険制度改善を求める 意見書は提出しません。

介護利用者や家族の負担の軽減、働く人の処遇改善などを
実現するために、政府の責任で必要な財政措置を講ずるよ
う、国に対して意見を上げてほしいという陳情です。反対
議員が多かったため、意見書は提出しません。

こんな意見が出ました。

- 高齢化社会に向かう中で、利用者や家族の負担を軽減し、働く人や事業所に支援が必要。介護保険をきちんとした制度として継続させるための意見書だと考えるので、賛成する。

- 処遇改善については1万円の加算という形も出ている。地域総合支援事業は4月に始まるので検証はこれから。今ある制度を改善していくべきと考えるので、反対する。



陳情者からの意見陳述

Pick up 6 全小中学生が無料で医療を受け られるよう、所得制限撤廃を求 める意見書を提出します。

義務教育就学児の医療費助成制度については、所得制限を
なくす自治体も増えていますが、財政事情などから差が生
じています。全ての小中学生が無料で医療を受けられるよ
う、所得制限を撤廃することを都へ要望するものです。全
議員の賛成で意見書を提出します。

提案理由

- 義務教育就学児医療費の助成の所得制限の撤廃を求めるため。
※義務教育就学児医療費助成制度とは、小学校1年生から中学校3年生までの医療費を助成する制度です。通院1回あたりの保険診療の自己負担分は200円が上限になります。

提出先

- ・東京都知事
- ・東京都議会議員



Pick up 5 精神障害がい者も医療費の助 成制度の対象となるよう意 見書を提出します。

現在の東京都の心身障害者医療費助成制度では、精神障
がい者が対象外とされています。障がいの種別を問わず、助
成制度の対象とするよう都に働きかけてほしいという陳情
です。全議員の賛成で意見書を提出することになりました。

こんな意見が出ました。

- あきる野市議会では、平成24年に「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の法制化を求める意見書を出しており、つながる部分もあると思うので、ぜひ意見書を出したいと思う。

- 精神障害がい者には働き盛りである40代も多く、経済的な負担が大きい。そうした医療補助が必要な人が市内にもたくさんいると思うので、賛成する。



Pick up 7 生活保護費の級地区分を 1級地とするよう意見書 を提出します。

あきる野市の生活保護費は、いまだに2級地区分となつて
おり、26市の中で格差が生じているので、これを同一の1
級地区分にするよう国などに求めるものです。全議員の賛
成で意見書を提出します。

提案理由

- 本市の生活保護費の級地区分を1級地とするよう強く求めるため。
※級地制度とは、生活扶助を行う際に地域における生活様式や物価の違いなどを生活保護基準に反映させることを目的とした制度です。現在、生活保護の基準額は6つの区分（6級地制）に分けられています。

提出先

- ・内閣総理大臣
- ・厚生労働大臣
- ・東京都知事





【事業名】子育て支援拠点整備事業

【事業費】6991万5千円

【内容】あきる野ルピア2階の子育て支援拠点に、子育てひろば、一時預かり施設、トイレ、授乳室などを整備し、子育て支援をさらに推進します。



【事業名】病児・病後児保育室整備工事

【事業費】1億1213万5千円

【内容】集団保育等が困難な病氣中または病氣回復期の児童を一時的に預かる「病児・病後児保育室」を、公立阿伎留医療センターの敷地内に整備します。



【事業名】胃がん対策若年層ピロリ菌検診事業

【事業費】387万5千円

【内容】将来的な胃がん発症リスクを軽減するために、特に除菌の効果が高いとされる若年層に対するピロリ菌検診を実施します。



【事業名】創業就労支援事業

【事業費】1440万円

【内容】平成28年8月に開設した「あきる野創業・就労・事業継支援ステーションBi@Sta」において、引き続き創業などに関する相談・支援を行います。



【事業名】地域経済活性化対策事業（プレミアム商品券）

【事業費】2000万円

【内容】消費の下支えと地域経済の振興を目的として、あきる野商工会が実施するプレミアム商品券の発行を支援します。



【事業名】秋川駅自由通路エレベーター詳細設計業務委託

【事業費】1600万円

【内容】秋川駅自由通路南北にエレベーターを設置し、駅利用者と通行者の利便性を図ります。今年度は、詳細設計に着手します。



【事業名】防災行政無線デジタル化工事実施設計委託

【事業費】1447万2千円

【内容】防災行政無線設備のアナログ運用が平成34年に終了するため、デジタル化を進めます。



【事業名】学力ジャンプアップ事業

【事業費】1600万円

【内容】これまでの学力向上推進モデル校6校の取り組みを踏まえ、対象を全小中学校に拡大し、基礎学力の定着・向上を図ります。



【事業名】放課後子ども教室推進事業

【事業費】949万2千円

【内容】放課後子ども教室を、これまでの4小学校（東秋留、多西、草花、五日市）に西秋留小学校を加え、5校で実施します。

平成29年度予算案をチェック

税金の使い道が決まりました。

一般会計予算

308億5722万5千円

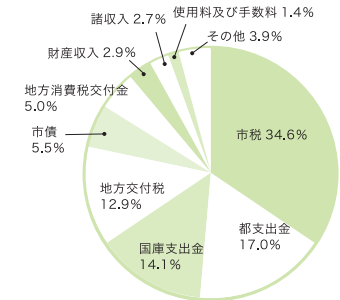
総額

529億7422万6千円

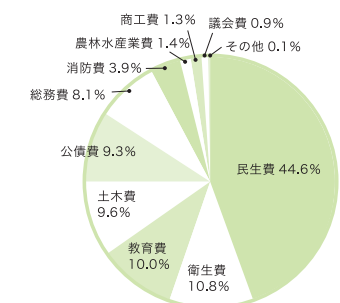
市長から平成29年度の予算案が提案されたので、3月14日・15日の2日間、予算特別委員会を開催し、皆さんから納めていただく税金の使い道を審査しました。その結果、全ての予算案が提案どおり可決され、平成29年度の税金の使い道が決まりました。その中から主な事業を紹介します。

会計別予算

一般会計	308億5722万5千円
特別会計	
国民健康保険	105億2926万1千円
後期高齢者医療	18億902万3千円
介護保険	59億4145万4千円
戸倉財産区	450万1千円
下水道事業	35億1582万1千円
テレビ共同受信事業	4087万1千円
秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業特別会計	2億7607万円
特別会計 計	221億1700万1千円



一般会計歳入



一般会計歳出（目的別）

公明党

賛成

平成29年度一般会計予算は、308億5722万5千円、前年度比で1.0%増。ルビア2階に子育てひろば・一時預かり施設等整備や病児・病後児保育室整備も図られるなど子育て環境が一層整備されることを高く評価す



増崎議員

また、がん発症リスク軽減が期待できる若年層へのピロリ菌検診、市独自の特定不妊治療費助成、秋川駅自由通路エレベーター実施設計などに取り組み評価する。今後、(仮称)行財政運営基本指針の策定と、国の統一的な基準に基づく財務諸表が作成され、その成果に注目している。限られた財源の中で、市民要望にしっかりと向き合った創意工夫が見受けられる予算である。堅実な行財政運営をお願いし、賛成討論とする。

日本共産党 あきる野市議団

反対

所得200万円以下が66.2%、低所得階層が圧倒的。多くの市民に支援が必要。秋川駅自由通路のエレベーターの設置計画、子育て支援の施策が進み始めたことを歓迎。公立保育士増で、受け入れ人数増を。私立保育士の待遇改善を。高齢者緊急通報システムは日中独居も適用に。いきいきセンタープールは介護予防施設とし、利用者拡大を。義務教育は本来無償、保護者負担の軽減を。ファーマーズセンターを建て替え、農業者支援、観光農業等の拠点に。公共交通の検討会議では、地域の実情に合わせた議論を。武蔵引田駅北口区画整理事業に1億9000万円繰り出す。開発優先の市政運営を改めるべき。市民の暮らしを支えることを第一にした予算にすべきである。



たばた議員

あきる野市議会 自民党

反対

あきる野市誕生以来11万7000人を目指した当市の人口は、2040年には6万9000人になると推測される。75歳以上の後期高齢者は3000人増大し、生産年齢人口は1万1300人減少する。東京都では8年後、高齢者の4人に1人が単身世帯となり、地域互助が困難になる。市が計画する産業誘致を急ぐことは、労働者不足を招き雇用創出どころか財政運営に無理を及ぼす。公共施設の管理経費だけでも大幅な不足であるのに、市が主導して区画整理事業を急ぐことは、さらに借金の塗布であるので、民間主導に改めるべき。市政にあたる人たちが自ら身を切って、議員定数の削減や経費縮小など歳出を抑制、民間活力を取り入れて税収を図り、歳入の増大に努めるべき。



奥秋議員

くさしぎ

反対

国と市の関係は上下・主従ではなく対等であるべきだが、本予算からはそうした地方分権の理念が感じられない。その一つが540万円の予算で始まるコンビニ交付の制度である。住民票等の交付がコンビニでできるのは便利だが、利用できるのはマイナンバーカード所持者のみ。現在わずか8%の市民しかカードを所持しておらず、このままでは1枚の交付に1200円もの税金が使われる計算になる。国は早期のマイナンバーカード普及をもくろみ、コンビニ交付制度への補助を3年以内に限定している。他にトップランナー方式やふるさと納税など、問題の多い国の政策が予算に影を落ととしている。地方分権の理念に立ち返った毅然とした態度で市政運営に臨むべきである。



辻議員

平成29年度予算案をチェック



このような理由で平成29年度 一般会計予算案に賛成・反対しました



戸沢委員長

定例会議最終日に、予算特別委員会で審査した結果を戸沢委員長が報告し、平成29年度一般会計予算の内容について全会派が賛成または反対の討論を行いました。討論の主な内容を掲載します。

自由民主党 志清会

賛成

民間保育所、子育てひろば、病児・病後児保育室の整備、通学路への防犯カメラの設置、秋川駅のエレベーター設置の予算を計上した、子育て支援や地域の安心・安全なまちづくりに対する積極的な取り組みを評価する。また、プレミアム商品券の発行、ふるさと納税に新商品を加えること、観光トイレの整備、天然遊上アユを促すための魚道整備など商工観光施策への取り組みも評価する。財政面では市が保有する遊休地売却による借金繰り上げ償還をはじめ、行政の経営努力に応じて配分される市町村総合交付金を西多摩で最大額獲得したことや、高い市税徴収率など市職員の努力を評価するとともに、バランスのとれた予算配分であると理解し賛成する。



中嶋議員

明るい未来を 創る会

反対

自主財源比率44%、起債残高等600億円超、財政硬直化で厳しい状況は変わらず。民生費等の増により、自由に使える財源が少ない状況は市民に共有必須。過去から学び、現在の選択と集中で、未来に向けたソフトランディングが必要。それが武蔵引田駅北口土地区画整理事業。2025年までに約71億円の事業費の内訳は、一般財源約34億円、国約16億円、都約5億円、保留地換地処分金16億円。処分金が計算通り行く保証はない。財政状況を鑑み区画整理ではないまちづくり手法へ。区画整理で投入予定の財源は公共施設等総合管理計画に使い、リノベーション中心のまちづくりを求む。職員の尽力には感謝するが、この事業の再考を求め、予算には反対する。



中村議員